

デノスマブ長期投与による有害事象発生予防および至適長期投与法調査研究に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター整形外科では、「デノスマブ長期投与による有害事象発生予防および至適長期投与法の確立に関する研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、本研究の目的は、当該薬剤使用による有害事象の発生率、発生時期、予後などを調査し、適応患者への不利益を減少させ、最大の利益をもたらす適切な長期投与法を提案することです。

この研究のため、2018年1月1日より2022年11月30日までに固形癌に対してデノスマブ（遺伝子組み換え）による治療をされた方の診療録、画像検査の調査を行います。対象となるのは固形癌に対してデノスマブ（遺伝子組み換え）による治療をされた方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（投与回数、投与期間、合併症など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2023年11月

研究責任者

東京医療センター 整形外科

吉山 晶

連絡先 03-3411-0111(代表)